2026年(令和8年) 第3回定例会

第50号議案

# 芦屋市立あしや温泉の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

第50号議案　芦屋市立あしや温泉の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について可決・成立しました。

あしや温泉は、阪神・淡路大震災の発生翌月の1995（平成7）年2月に仮設浴場としてオープンし、2010（平成22）年には改築され、同年4月から現在の鉄筋コンクリート造の建物になり運営を開始しています。市民の憩いの場として長年親しまれてきた温泉であり、入湯料もこれまで値上げされず大人380円での利用ができ銭湯価格以下で非常に安いと好評でもありました。

2017（平成29）年度～2025（令和７）年度の7年間においても多額の支出超過が続いており2025（令和７）年～2026（令和８）年において設備の老朽化、長寿命化、改修にかかる多額の費用（約10.8億円規模）、さらに近年の赤字増加が課題になり芦屋市は施設の維持を断念する方針となり、あしや温泉は2027年３月末で廃止されることになります。



**今後は、民間事業者による「源泉を活用した事業」が検討されていますが、多くの市民が利用できる有意義な場所となるよう強く願いたいと思います。**


## 原なつ子 連絡先

TEL・FAX 0797-35-1639　swimmer@ashiya.haranatsuko.com

◀ 公式ホームページ　https://haranatsuko.com/

ご意見やご相談など、ぜひお気軽にお聞かせください！

▼ SNSでも情報発信しております。

Facebook, Instagram, X（旧Twitter）, YouTube





No.9

2026年８月発行


# 原なつ子 市議会報告

芦屋市議会議員１期目 ／ 無所属 ／ あしや政風会

本年度で芦屋市議会議員４年目になります。委員会においては、昨年度から引き続き民生文教常任委員会に所属となり本年度は、副委員長を務めさせて頂くことになりました。教育や福祉などで本市が担っているそして必要とする施策に対し委員のメンバーと共に慎重に審査し、市民の皆さまの意見を市政に反映させていきたいと思います。皆さま、どうぞ宜しくお願い致します。

## 2026年(令和８年)６月　第３回定例会　一般質問

令和８年６月第３回定例会での一般質問については、本会議の初日６月17日（水）の４番目に登壇致しました。

１つ目のテーマは、**インフルエンザワクチンの助成について**

２つ目のテーマは、**医療的ケア児に対する支援ならびに受け入れ体制について**です。


一般質問 インフルエンザワクチンの助成 中面へ

一般質問 医療的ケア児に対する支援 中面へ


## 原なつ子の活動

2026年（令和8年）7月

- 7月4日（土）　高齢者のつどい　参加
- 7月8日（水）、9日（木）　あしや政風会　会派視察　鳥取県倉吉市、島根県出雲市
- 7月11日（土）　第13回　あしや保健福祉フェア　参加



## インフルエンザワクチンの助成について

**高齢者の場合**

65歳以上
1回1,500円

現在、**高齢者の方々に対するインフルエンザワクチン接種については**、予防接種法に基づき市区町村による定期接種の扱いとなり本市においても接種費用は自治体からの公費補助において**各医療機関で65歳以上の方で1回1,500円での接種が出来ます。又、60歳から64歳の方で特定疾患のある方も対象となります。**

**小児の場合**

13歳未満
1回3,000円
～4,000円
(×2回推奨)

小児インフルエンザワクチンの助成については、これまでも数多くの議員の方々による委員会での質疑や一般質問でも取り上げられてきました。現在、兵庫県下では各市区町村での小児インフルエンザワクチン助成についての導入は増えていますが（神戸市、明石市、多可町、稲美町など）本市においては、国の動向を見ながら導入については考えていくとの行政側からの答弁がありました。

**私がインフルエンザワクチン助成をお伝えした理由としては、小児インフルエンザワクチンは、任意接種であり自由診療であるため各医療機関により値段が定められています。よって、各医療機関では金額が統一ではないということです。**現在の芦屋市の医療機関での金額の相場は、小児インフルエンザワクチン接種１回につき3,000円～4,000円です。小児13歳未満では、2回接種が推奨されているため、小児1人当たり6,000円～8,000円かかることになります。尚且つ多子世帯であれば、経済的負担もその分大きくなります。**ワクチン接種により、インフルエンザにかかってしまっても重症化を防ぐことになりまた、学校園や家庭内での感染拡大を防止することができます。**実際にインフルエンザワクチン接種における費用を少しでも安く抑えるため、2回の接種を1回接種で終了にしてしまったり、他市医療機関での接種を行うご家庭もある中、子育てがしやすい芦屋市となるよう今後は医療にも尽力していく必要があると思います。



**ぜひ小児インフルエンザワクチン接種を希望する方々に対し本市において少しでも経済的負担を軽くし２回接種を行いやすい環境づくりを考えて頂きたいと思います。**

## 医療的ケア児に対する支援ならびに受け入れ体制について

医療的ケア児とは、人工呼吸器による呼吸管理や喀痰吸引、胃ろうなど経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な18歳未満の児童のことを言います。



2021年９月には「医療的ケア児支援法」が施行され保育所や学校などでの受け入れ体制の整備が進められています。**医療的ケア児の受け入れ体制に伴い、支援拠点の設置や保育所、学校への看護師の配置、相談窓口の充実は不可欠です。**

**芦屋市では？**

芦屋市では、2023(令和５)年４月１日から医療的ケア児等コーディネーター配置事業が実施され、現在３年目を迎えています。本市では、現在未就園児から特別支援学校を含む高等学校内で十数人の医療的ケア児がおり、保健福祉センターには医療的ケア児等コーディネーターが１人配置されています。**医療的ケア児等コーディネーターは主に保護者の方との相談や学校園とのケース会議に参加し、情報共有を行っています。保護者の方や学校園との連携にも今後引き続き関係性を構築していくという姿勢を行政側から伺えました。**

私は今後、医療的ケア児等コーディネーターがケアが必要な子どもたちや保護者の方に対し、日々の生活における不安がないか等の声がけや確認を積極的に行ってもらえるようお伝えしました。そして**医療的ケアに携わる看護師は、引き続き保護者との面談をし、医療的ケアについてしっかりと把握している方が実際のケアに従事してもらえるよう強く要望致しました。**

全国的に見て芦屋市においては、医療的ケア児は多くありません。実際、医療的ケアを必要とする十数人のケア児において医療的ケア児等コーディネーターは1人であることから**今後のケア児の増加や手厚い連携体制の構築の必要に応じて医療的ケア児等コーディネーターの適正な人数配置をお願いしたいと思います。**